

再評価調書（再々評価）

事業名	二級河川津田川 高潮対策事業															
所在地	貝塚市津田北町地先～貝塚市津田南町地先															
再々評価理由	再評価後5年を経過した時点で継続中															
事業概要	目的	伊勢湾台風級の超大型台風による津田川沿川の高潮及び洪水による被害を防止する。														
	内容	特殊堤：L=約1,150m、道路橋：1橋、用地取得：A=約3,000m ² 計画堤防高：OP+5.50m 現況堤防高：OP+3.30m														
	事業費	<table border="0"> <tr> <td>全体事業費 計画約 2.8億円</td> <td>投資事業費約 2.4億円</td> </tr> <tr> <td>内用地費 計画約 3億円</td> <td>内用地費約 2億円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(土地単価約10.0万円/m²)</td> </tr> <tr> <td>内工事費 計画約 2.5億円</td> <td>内工事費約 2.2億円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(工事単価約200.0万円/m)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">再評価時点における事業費 約1.6億円</td> </tr> </table>			全体事業費 計画約 2.8億円	投資事業費約 2.4億円	内用地費 計画約 3億円	内用地費約 2億円	(土地単価約10.0万円/m ²)		内工事費 計画約 2.5億円	内工事費約 2.2億円	(工事単価約200.0万円/m)		再評価時点における事業費 約1.6億円	
	全体事業費 計画約 2.8億円	投資事業費約 2.4億円														
	内用地費 計画約 3億円	内用地費約 2億円														
	(土地単価約10.0万円/m ²)															
	内工事費 計画約 2.5億円	内工事費約 2.2億円														
(工事単価約200.0万円/m)																
再評価時点における事業費 約1.6億円																
維持管理費	約1.4百万円/年 (約1.2百万円/km・年)															
上位計画	津田川水系河川整備基本方針(平成13年7月同意) 津田川水系河川整備計画(平成15年6月同意) 大阪府都市基盤中期整備計画(案)															
関連事業	-															
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	再評価時点	現時点	分析											
		事業採択年度 S54年	S54年	S54年												
		事業着手年度 S54年	S54年	S54年												
		完成予定年度	H15年	H18年												
進捗状況	用地 -%	用地 32%	用地 74%													
	工事 -%	工事 77%	工事 88%	整備済延長 1.0km (87%)												
途中段階の整備効果発現状況	改修済箇所で氾濫防止効果あり。															
事業進捗に関する課題																

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	再評価時点での状況	現時点での状況	分析
			河川事業 ・想定氾濫区域：270ha ・浸水戸数：約6,000戸	同左	
	地元等の協力体制		岸見橋の架替や昭代橋上流左岸の用地取得に係る地元調整が難航していたが、平成10年より事業の協力が得られるようになった。	平成13年度に地元の協力により、岸見橋の架替が完成した。	引き続き昭代橋上流左岸の用地取得などの地元調整を推進する。

		計画時の想定		備考	再評価時点での状況	現時点での状況（変更点）	分析
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益分析の手法が確立されておらず、算出できず			<ul style="list-style-type: none"> ・ $b / c = 5.30$ 年便益 b = 4.31 億円 年費用 c = 0.81 億円 算出根拠 治水経済調査要綱 	<ul style="list-style-type: none"> ・ $B / C = 4.64$ 便益総額 B = 169.55 億円 総費用 C = 36.51 億円 ・ 費用便益算定の根拠： H12年発行治水経済調査マニュアル（案） ・ 便益内容：資産被害防止効果 ・ 受益者：周辺住民、農業従事者 	
	その他の指標（代替指標）						
事業効果の定性的分析	安全・安心	・ 浸水被害の軽減（生命、財産）		・ 受益者：周辺住民、農業従事者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改修目標流量に対する現況流下能力の割合 41% ・ 現況の治水安全度：3年確率程度 	・ 平成13年度に岸見橋の架替が完了。	
	活力						
	快適性						
	その他						
自然環境等への影響と対策							
その他特記すべき事項	前回再評価時の意見具申・府の対応方針の概要	（意見具申） 事業継続 （府の対応方針） 事業継続	今回再評価時点の反映状況				